

寺報

龍正寺

日なた 197号

御報
御会式会
因心

日延



<令和 6年 10月>

宝龍会
護持会

令和6年度秋季彼岸会

令和6年9月22日(日)



檀信徒の皆さん、ご先祖様に思いを込めて合掌、礼拝し供養されました。



太鼓を叩き、お題目を唱えました。



七四四遠心

宗祖月蓮大聖人

御会式会

南無妙法蓮華經

宝雲山龍正寺

任職一言

本月は宗祖日蓮大聖人第744遠忌を迎え、宗門では盛大に報恩お会式会法要が行なわれます。

当山では10月13日(日)に報恩お会式会法要を行います、皆様様の御参拝をお待ちしております。

宗祖日蓮大聖人御遺文観心本尊抄にいわく、

「石中の火、木中の花」聖語カレンダー10月正

見て下さい、石の中に火がある、木の中に花があると説かれています。目に見える事は信じて、目に見えない事は信じない。これは普通の事です、目に見えない事を信ずる心は、未来や大きな可能性のある事です、お題目を唱え毎日の努力です、お釈迦様(仏様)も自分自身の毎日の言葉、行動に気が付く事で周りが変化すると説かれています。

宗祖日蓮大聖人は国と国民が幸せになる事を願って、お題目法華經を弘められ61歳の生涯で御入滅されました、おきな声にお題目を唱え報恩感謝いたしましょう。

合掌

南無妙法蓮華經

「自立」

自立とは、

1. 自分が考えて仕事をする状態の自立。
2. 親や組織に頼ることなくお金がかせいで生活している自立。
3. 自分で考えて行動ができる精神的な自立。

自身は甘えんぼうで自立心なく、物事が決められなくて人の意見に左右され、決定事項は相手にゆだねる。そのくせ、問題あつたり解決できなかつたりすると相手のせいにする精神的に子共であった。

夫の浮気・裁判・共有財産・慰謝料請求等の問題にとりくまなければいけなかつた。40代。

精神的、身体的にもかたまり疲弊しましたが、その経験を経て、少しは大人になつたのかと思います。

職場では思い出すだけで涙がでるし、私の苦しみわかつてよと思い、何度皆に伝え話したいと思つた事もありました。

親からは人に言うもんじゃないとクギをさされていましたが、精神的に子共であった私は言え

よい事が苦しかった。でも、これは自立していいから
子供のように わかて わかいて、かまて というようにも
今はわかる気がします。その時自分がもう少し自立
していたら(精神的に) 状況は違っていたかもしれなか
った。

この経験というのは、自分が人生の中での自立に向け
て必要な出来事であったと思うし、気づきをいっしょに
もらえたものです。

すべては、自分から発しての原因と結果であることをふま
えて、自分自身と対峙し自立の力を育てる年をとて
いきたいです。

— 心の拠り所 —

10月13日は「御会式会」今年は日曜日です。
我が家が日蓮大聖人様とご縁を結んで四十年
以上になります。

子供の相談事があり、主人の友人に龍正寺さんを
紹介して頂き、初めて「日蓮大聖人」を知りました。
当時は我が子を助けたい一心でした。その為何か
何んでも、無我夢中の歲月でした。気がついた時、
日蓮大聖人様が私の心の拠り所になっていました。
しかし、人の心は難しいもので、あたりに信仰が生活
の中での葛藤になりました。

それでも日蓮大聖人様に、時には苦しみや弱音を
吐きながら、御題目を唱え続けました。

身土山久遠寺、池上本門寺に幾度も参拝する機会を
頂き、宗祖日蓮大聖人との結縁を深めるたびに、
勇気・元気・ヤル気等々が漲りました。

今でも悩み・苦しみはあります。生きていく限り次々
と起きる出来事に、悪戦苦闘します。

しかしその都度 開運のお尊きや、喜びの出来事にする知恵が…。少しずつですか 力となって偉せを感じる様になりました。

今は日々 その報いる恩に感謝しています。

龍正寺では、日蓮大聖人様との結縁を深く結んで頂けるように 角塔婆に御縁の五色ひもが結ばれています。

この時期だけですので、多くの方に日蓮大聖人様とより深く結縁をしましょう。

御会式会 法要前には、「唱題行」があります。心静かに 御題目を唱え、自分自身に寄り添い、見つめてみるのはどうでしょうか。

「法華經の学び」

尊い法華經にご縁がいただけまして
年月も経ちました 法華經の学びに
一生懸命です。いつもご法話に聞き
入ります。メモも致します。ノートの中に
残る言葉の一句一句を読み返します。
おかげ様で心の成長も少しはでき
たように自分なりに思っています。!

80才すぎても尊い法華經の学びと今
与えていただけましたことがこの上とな
くの有り難さであります。知らないことが
でした。…るの意味合いがわからずでした。!

先祖供養のことなども 供養とは…
ご先祖さんも自分も心か養なわけて

ゆくことなどです…先祖さんという
土台があつてのことのように自らの読
経の折りには一日のあつた去来ことなど
を話して会話を致します

読経中にいろいろなことと思ひ巡らして
は感動の涙が流れます 今家族が
平陸無事との日々の暮らしがあることも
法華経の学びより 妙法のおかげさま
と有りがたく思っております

すかり時代も変りましたが今の時代の
世相の中での生活もいろんな面で暮らし
にくくなり心の迷ひも生じてくるように

思つてみます そんな時にやはり法話の学び
より心の作用…何事も心次第で少しは

心も軽くなってゆくのではないでしょうが
でも次から次といろんなことが起きて来ます
おたくにもいつかはいろいろなことを通つてき
ましたか そんな時は仏さんのお言葉
よりその場を泣いておさめたことも思い出の
中にあります

家庭生活の役割分担一夫と妻に
それぞれが決めるをしても 相手がその通り
にやってくれないと...それが元で言の争いが
起きたりおし怒れる だから役割分担を
決めずに その場を上手に繕うてゆきます
と雑誌で拝読致しました

そんな中で小さな柄をよる二び合つて
ゆくことでお互いにも心使ひも出来てゆくのでは
ないでしょうか？

法華經は陽気な教と学びました
前向きに進みましょう ハイ(杯) いろん
な柄が有りかたということで大なる声で
ハイの返るを教すことハイと言えた自分の
心がゆたかになってゆけり様です
無理をせぬように少し無理をしてゆくこ
が大ると心に止めています 今のわたくしには
何でもかまさんが出さるこの中でそれなりの気づき
と知恵も出てきます 自分磨きは何るによ
よるこびという栄養素を入れて 尊いゆが
身の神仏さまに帰依を改めて妙法でお礼
を申してゆきましょう 明るく楽しむこで
今が一ばんいいありがとうと合掌です

南無妙法蓮華經

合掌

< 10月行事予定 >

- 10月13日(日) 13:00~ 唱題行
14:00~ 宗祖日蓮大聖人佐渡報恩
御会式会
- 18日(金) 10:00~ 鬼子母尊神 祈禱会
七面大明神

< 10月住職の予定 >

寺院ニテ法務

施錠する事が多いので参拝時は前もって電話下さい。
住職

< 10月の予定 >

- 10月6日(日) 13:00~ お花飾り
準備活動
- 7日(月) 各々の時間で" 清掃. 準備
↓ ↓
11日(金) ↓ ↓
12日(土) 9:00~ 飾り付け
13日(日) 法要後 片付け. 準備
14日(月) 各々の時間で" 清掃. 準備
↓ ↓
17日(木) ↓ ↓